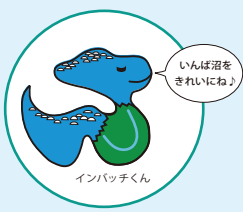
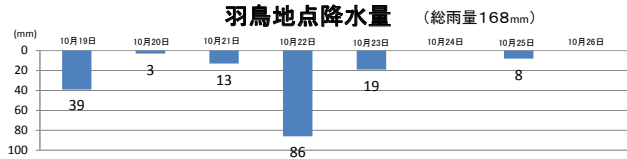


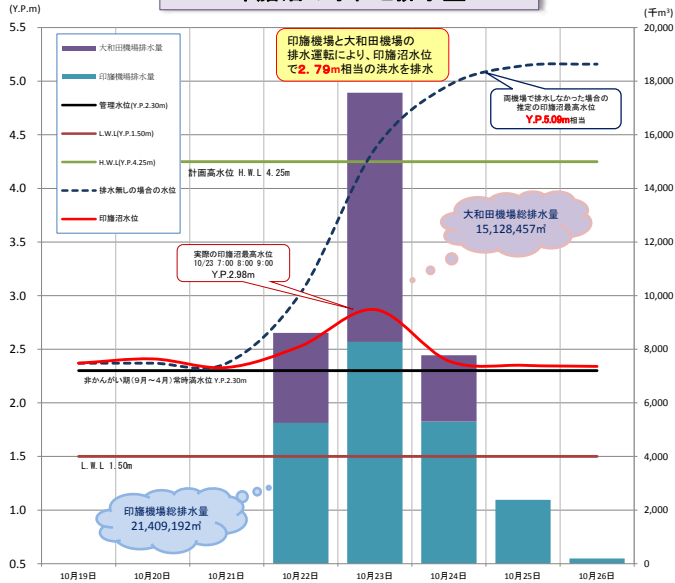
印旛機場、大和田機場の洪水排水運転の効果



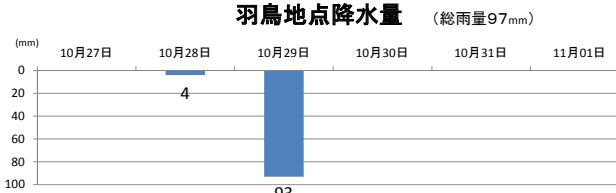
印旛沼における平成29年10月 台風21号と前線に伴う洪水排水対応



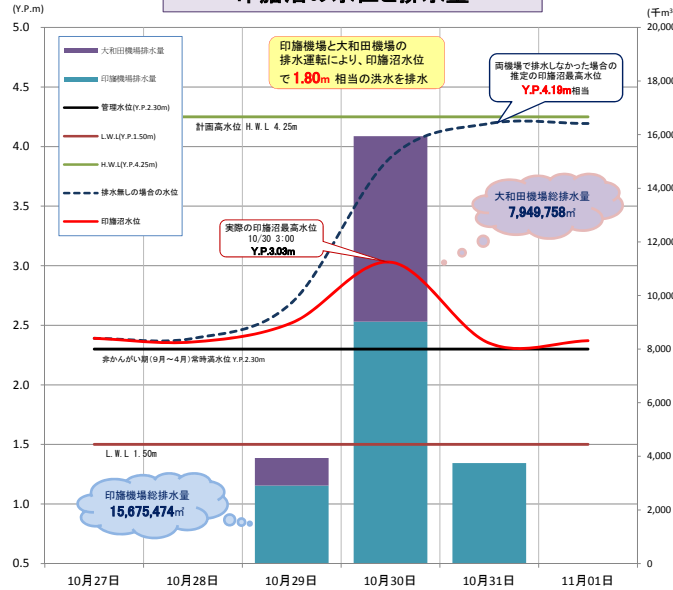
印旛沼の水位と排水量



印旛沼における平成29年10月 台風22号に伴う洪水排水対応



印旛沼の水位と排水量



平成29年10月21日から22日にかけて日本の南海上を北上し、23日に静岡県御前崎市付近に上陸した台風21号を取り巻く雨雲や本州付近に停滞した前線の影響による大雨によって印旛沼の水位も上昇したため、防災態勢を発令し、22日から26日にかけて印旛機場と大和田機場の排水運転を行いました(大和田機場は24日まで)。

二週続きの来襲となった台風22号は、29日には暴風域を伴ったまま本州の南海上を進み、本州付近に北上した前線の影響も伴って大雨を降らせ、印旛沼の水位が上昇したことから、再び印旛、大和田の両機場の排水運転を29日から31日にかけて(大和田機場は30日まで)行いました。防災態勢は11日間続き、11月1日に解除しました。

この台風21号に伴う排水運転により、推定で印旛沼の水位換算で2.79mに相当する洪水を排水し、台風22号に伴う排水運転では、1.80mに相当する洪水を排水しました(数値はいずれも速報値であり、今後変わる可能性があります)。

このように千葉用水総合管理所では、印旛機場、大和田機場の排水運転により印旛沼の洪水排水を行っておりますが、印旛沼流域の都市化に伴う沼への流入量の増加していること及び到達時間が早くなっていることや、ゲリラ豪雨等の集中豪雨等によって洪水の危険度が高くなっています。その一方で排水運転に支障となる事態も生じています(写真)。

大和田機場に漂着した特定外来生物ナガエツルノゲイトウなど

大和田機場の洪水排水運転に支障となるナガエツルノゲイトウが大和田機場に押し寄せたため除去作業を行いました。機場に漂着したものの中には、桟橋や釣場の椅子と思われるものもあり、改めてその危険性を認識しました。



深夜、人力による除去作業



機場に押し寄せるナガエツルノゲイトウ



翌日、重機による除去作業



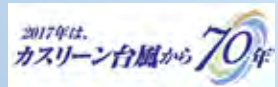
集積したナガエツルノゲイトウ



分別前のナガエツルノゲイトウと様々な漂着物



漂着した椅子や桟橋



(独)水資源機構 千葉用水総合管理所

住所: 千葉県八千代市村上3139

TEL: 047-483-0722

E-mail: chiba_kouhou@water.go.jp

ホームページ: <http://water.go.jp/kanto/chiba/index.html>



千葉県の水がめ印旛沼を守り、洪水被害から地域を守ります